

(様式第8号)

長野県みらい基金 信州の特色ある学びを実践する事業・団体助成プログラム
助成対象事業実績報告書

2024年4月30日

公益財団法人

長野県みらい基金 理事長 様

申請者 所在地 長野県伊那市荒井3500-1

伊那市生涯学習センター5階

団体名 NPO法人 子ども・若者サポートはみんぐ

代表者 職・氏名 代表理事 戸枝 智子

※押印は不要です

「長野県みらいベース」において当団体が掲載した「信州の特色ある学びを実践する事業・団体助成プログラム」について、下記のとおり報告します。

記

- 1 助成対象事業名
からだと心を解き放とう！子どもは“風”事業
- 2 助成対象事業の実施期間
2023年4月1日 ～ 2024年3月31日
- 3 助成対象事業の内容
別紙添付
- 4 事業の成果
別紙添付
- 5 助成対象事業の実施状況を示す書類(添付)
 - (1) 助成対象事業収支計算書
 - (2) 事業の経過又は成果を証する書類

助成対象事業収支計算書

※下記報告書の裏付けとして、領収書のコピーを添付してください

区 分			金額(円)	内 訳
収 入	① 本助成金		237,165	
	② 自己資金 会費、事業収入、 寄付金など		66146	
	③ その他 補助金等			
収入合計		303,311	(A)	
支 出	助成対象経費	謝礼	182010	スタッフ、講師謝金
		会場費	93700	運動のための多目的室使用料
		利用料	8120	市民プール、プラネタリウム観覧代
		材料費	11081	オルタフェス、クリスマス飾り工作
		レンタル代	8400	スキーレンタル代
		計	303311	(B)
	助成対象外経費			
計		0	(C)	
	支出合計	303311	(B)+(C)=(A)	

居場所オルタ活動、子どもの様子と家庭より



オルタでは月1回の調理活動をやってきました。今年度はお菓子づくりだけでなく、カレーや餃子づくりなど屋食づくりも行いました。利用者は小学1年生から中学3年生までと幅広いですが、自分のできる活動に取り組んでいます。午後は多目的室で各自のできる運動に取り組んだり、みんなでドッチボールなどもしました。



制作活動も行いました。アクセサリづくりやスライムづくり、ビーズを使った工作など各自の興味に合わせて取り組みました。12月は講師の方に教えていただいて、クリスマスツリーづくりを行い、家で飾りました。また、昨年に引き続き、12月に文化祭(オルタフェス)を開き、家族や友達、先生を招待しまして喫茶も行いました。お菓子の準備から接客まで、協力して楽しくできました。



8月の伊那まつりのはみんぐ連にもオルタから参加しました。ダンスの時間に有志で踊りを何回も練習し、当日はみごとに踊ることができ、参加者は大満足でした。



水曜日の午後は伊那市民体育館で身体を動かしました。それぞれがやりたいスポーツを行ったり、時にはみんなで、ソフトバレーやドッチボールを楽しみました。冬には伊那スキーリゾートでスキー・スノボ体験も行いました。みんなどんどん上達し、時間を忘れて滑りまわりました。

《特色ある学びを実践する事業を通しての子どもたちの成長の記録》

- ・Cさん: はじめは静かで自分をあまり出せず、誘われると断れない面があった。ダンスやスポーツでは、活発に活動ができ、オルタの日常の活動の中でも、「いやだ」と言えるようになった。
- ・Nくん: 来始めた頃は、折り紙や工作などに取り組み、チックの症状が目立っていた。オルタに来ているうちに自信が付き、ボードゲームをやる際には、リーダーとなってみんなをまとめ、スタッフとも対等に話すようになった。
- ・Dくん: 母親と一緒に午前中に来て、好きなアイロンビーズやタブレットで過ごし、スタッフや他の子どもたちと会話することはないが、オルタフェスの取り組みの中で、みんなの話し合いを聴いていて、手作りゲーム大会の景品をアイロンビーズで作ることを考え、数多くの作品を作ってくれた。当日は参加しなかったが、景品が好評だったことを伝え、嬉しそうであった。
- ・Jさん: スポーツで当初は多動で衝動的な行動があり、自分のやりたいことだけしていたが、自分が提案した運動に皆が参加してくれると、嬉しそうに一緒にスポーツができた。
- ・Mさん: スポーツで当初は、母親とだけバドミントンや卓球をしていたが、ドッチボールや鬼ごっこに誘うと、母親と一緒にではあるが、他の子たちと関わりが出てきた。

《家庭より》

小学校に入学以来、1日として親子ともに気の休まる日はありませんでした。私たちも、学校にとにかく行ってくれない！という苦しさでした。コロナ禍を経て、学校が始まった時から毎日、腹痛、便秘、早退の日々でした。・・・はみんぐを知り、一度見学に来た時から、「はみんぐに行きたい」と言いました。その日以来、腹痛も便秘も一度もありません。オルタで自分の時間を過ごし、はみんぐで走りまわり、のびのびと過ごしています。こんなにはつらつとしている姿は、学校に行くのが当たり前と通わせている時にはわからなかった。そして、本人の好きなこと、得意なこと、やさしさ、思いやり、学校へ行っている時には見えなかったことが見えてきました。苦手なことにチャレンジ！乗り越えるように1と1つずつ願っていた毎日が、どんなに本人を苦しめていたか。はみんぐのスタッフの方々が一歩ひとりに向き合ってくれて大切に思ってくれる。子どもたちは、それを感じるからこそはみんぐが大好きです。・・・はみんぐに出合えなかったら、一体どうなっていたらと思います。子どもたちの居場所として、私たちは、はみんぐに助けられました。ずっとずっと続けてほしい居場所です。

* スタッフより

居場所は、子どもたちの今のありのままを認め受け入れ、安心して過ごせる場所であることが一番大切だと思います。居場所でも「成果」や「成長」を求められたら、敏感な子どもたちは、学校のように息苦しさを感じてしまうでしょう。私たちが、クラウドファンディング助成を頂くことで、さまざまな体験活動を企画できましたが、やる、やらないは子ども自身に決めてもらいました。助成金事業を行って、子どもがどう変化したか、「成果」を求められると、心がチクッと痛みます。本当は、学校がどの子にも安心して過ごせる場であることが一番ですが、それがかなわない間は継続したいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

何をしてもいい。何もしなくていい。あなたは、あなたのままでいい。

小中学生の居場所「オルタ」



2020年4月、伊那市の産業と若者が息づく拠点施設**allla**の一室をお借りして、学校に行きづらい小中学生の居場所を開設しました。上伊那全域から相談・受け入れを行っています。

オルタという名前はオルタナティブ教育（これまでの学校教育以外の学びの選択肢）から付けました。学校以外にも多様な学びの場が認められる社会を実現しようという願いが込められています。



スポーツ



allla



調理活動



作業空間



居住空間



制作活動



オルタ入口



行事(餅つき)

☆開設日時 月・金 10:00～15:00(13:00～多目的室にて運動もできます)

☆利用料 はみんぐ賛助会員登録 3000円

スポーツ保険加入 800円

調理活動材料費1回100～200円

☆利用の相談・見学 随時(右の問い合わせ先へ)

< 問い合わせ先 >

NPO 法人子ども・若者サポートはみんぐ

TEL/FAX (0265) 76-7627

メール info@kksc.org

昨年度の主な活動

・調理活動

クッキー、ドーナツ、パンケーキ、スイートポテト、
だんご、かき氷、カレー、餃子など、

・行事

花見、七夕、ハロウィン、クリスマス、餅つき、卒業式、オルタフェス(文化祭)など

・野外活動

プール、プラネトリウム鑑賞、映画鑑賞、
パン作り体験など

allla の場所



支援の流れ

